

ポーランド政治・経済・社会情勢

(2015年12月17日～12月22日)

平成 27 年(2015 年)12 月 24 日

H E A D L I N E S

政治

憲法法廷を巡る情勢

上下両院, 故カチンスキ元大統領の大統領就任10周年記念行事を実施

対空可動ミサイル発射装置の購入

シャトコフスキ国防次官のV4国防大臣級会合出席

シドウウォ首相, 欧州理事会に出席

当地 NATO 対諜報センター(NATO CI COE)長の交代

故カチンスキ元大統領の外交政策に関する国際会議の開催

ヴァシチコフスキ外相, ルーマニアを訪問

マチェレヴィチ国防大臣, アフガニスタン訪問

モラヴィエツキ副首相兼開発大臣, 防衛分野への資金投入の意向を発表

経済

2016年予算編成

輸出支援庁・開発庁の創設

11月の小売販売は対前年同月比3.3%増

11月の鉱工業生産は対前年同月比7.8%増

訪問外国人による第三四半期の支出総額は105億ズロチ

LOTのNY便増便

カルフルがオンライン販売を開始

新たな輸出・開発支援機関を創設ー開発大臣

ハンブルグ行政裁判所がノルドストリーム関連の訴訟を棄却

新KWを巡るエネルギー大臣の発言

大使館からのお知らせ

パスポートダウンロード申請書のご案内について

年末年始に海外に渡航・滞在される方の安全対策のためのお知らせ

ポーランドにおけるテロ関連情勢及び注意喚起

大使館広報文化センターの開館時間について

東日本大震災義捐金受付について

文化行事・大使館関連行事

ポーランド日本国大使館

ul.Szwolczerow 8, 00-464 Warszawa Tel:+48 22 696

5000http://www.pl.emb-japan.go.jp/index_j.htm

【お願い】3か月以上滞在される場合、「在留届」を大使館に提出してください。大規模な事故・災害等が発生した場合、所在確認・救援の根拠となります！
問合せ先 大使館領事部 電話 22 696 5005 Fax 5006 各種証明書, 在外投票, 旅券, 戸籍・国籍関係の届出についてもどうぞ。

政 治
内 政

憲法法廷を巡る情勢【19日～23日】

19日、ワルシャワを始めとする主要都市にて、「ポーランドの民主主義と憲法法廷を守ろう」と題する民主主義擁護委員会(KOD)主催のデモが実施され、ワルシャワの下院前のデモには約1万人(警察発表、ワルシャワ市発表は2万人)が参加した。

22日、下院は、15日に与党「法と正義」(PiS)が提出した憲法法廷に関する法律の修正案を可決した。同修正案には、憲法法廷(判事計15名)の各審議に参加する判事の数の現在の9名から13名への拡大(案件によって7名の参加数で足りる規定あり)、判決を下すにあたりこれまでの過半数ではなく2/3の判事の同意が必要となること等が含まれている。市民プラットフォーム(PO)及び「近代」等の主要野党は、同法案は憲法法廷を機能不全に陥れるものである等の評価を述べ、強く反対している。

23日、ティーマーンス欧州委員会第一副委員長はヴァシチコフスキ外相及びジョブロ法相宛に書簡を發出し、22日に下院で可決された憲法法廷法案には裁判所の機能及び判事の独立性に関する懸念があり、同法案が最終的に採択されないこと、又は、少なくとも同法案の憲法法廷の独立性及び機能に与える影響が正当に評価されるまで発効を延期することを期待する、との考えを伝達した。

上下両院、故カチンスキ元大統領の大統領就任10周年記念行事を実施【22日】

22日、上下両院は、故カチンスキ元大統領の大統領就任10周年記念行事を実施した。同行事に先立って、上下両院は、故カチンスキ元大統領の功績を称える特別決議を採択した。

外 交 ・ 安 全 保 障

対空可動ミサイル発射装置の購入【16日】

16日、国防省は、国営企業であるPIT-RADWA Rより10億ズロチ相当の79型対空可動ミサイル発射装置を購入予定の発表をした。納入時期は2018-2021年の予定。

シャトコヴスキ国防次官のV4国防大臣級会合出席【17日】

17日、シャトコヴスキ国防次官は、プラハで開催されたV4国防大臣級会合出席にした。同会合では、EU戦闘グループ及び移民の危機について協議された。

シドゥウォ首相、欧州理事会に出席【17日・18日】

17日・18日、シドゥウォ首相は欧州理事会に出席し、主に難民問題、COP21の成果、英国によるEU改革案、エネルギー安全保障に関する議論に参加した。シドゥウォ首相は、難民問題に関し、今次理事会では従来からのポーランドの主張が確認され満足している、難民問題はEU域外にて解決されるべきである、効率的なEUの域外国境管理及び第三国との協力が重要である、我々が(前政権が合意した難民受け入れに関する)政府の義務を果たさなければならないことは明らかである旨述べた。

当地NATO対諜報センター(NATO CI COE)長の交代【18日】

18日未明、ポーランド及びスロヴァキアの対諜報機関の主導により設立された NATO対諜報センター(NATO CI COE(Center Of Excellency))に、ポーランド国防省職員等が強行的に立ち入った。それに続き、

同日、国防省より同センター長の交代が発表された。ヴァシチコフスキ外相は国防省の行動を擁護している一方、NATO機関への強権的な行動に批判の声が上がっている。

故カチンスキ元大統領の外交政策に関する国際会議の開催【21日】

21日、故カチンスキ元大統領の外交政策に関する「主権、連帯、安全保障、レフ・カチンスキと中・東欧」と題する国際会議が開催され、ドゥダ大統領、イルヴェス・エストニア大統領、リトアニア、チェコ、ジョージア及びルーマニアの元大統領等が参加した。ドゥダ大統領は、故カチンスキ元大統領の安全保障、エネルギー安全保障、中・東欧諸国との連帯等の外交理念は現在益々その有効性を示している旨述べた。

ヴァシチコフスキ外相、ルーマニアを訪問【21日】

21日、ヴァシチコフスキ外相はルーマニアを訪問し、コマネスク外相との間で主に二国間関係、安全保障政策、地域情勢につき協議した。両外相は、安全保障、欧州政策、経済等に関する両国間の2016年～20年のアクションプランに署名した。

マチェレヴィチ国防大臣、アフガニスタン訪問【21日】

20日、マチェレヴィチ国防大臣は、アフガニスタンに派遣中のポーランド兵を訪問した。ポーランド兵はアフガニスタンにおいて特殊作戦のモニタリング及び調整を行っている。

モラヴィエツキ副首相兼開発大臣、防衛分野への資金投入の意向を発表【21日】

21日、モラヴィエツキ副首相兼開発大臣は、下院の経済開発委員会において、来る6～8年間に1, 2

00～1, 300億ズロチを防衛政策に充て、防衛産業分野の構築に多くの資金を投入し、国防省とともに同プロジェクトを実施したい旨を述べた。

経 済

経済・財政政策

2016年予算編成【21日】

21日、政府は2016年予算案を承認。歳入3, 138億ズロチ、歳出3, 685億ズロチで財政赤字54. 7億ズロチを計上。2016年GDP成長率は3. 8%、インフレ率1. 7%を見込んでいる。また、EU基金による歳入は624億ズロチ、歳出は716億ズロチの見込み。

輸出支援庁・開発庁の創設【21日】

モラヴィエツキ開発長官は、ポーランドの輸出と投資を促進する目的で「輸出支援庁」「開発庁」を創設する旨21日に発言。既存の情報・投資庁(PAIIIZ)等複数の関連機関から構成される見込み。

マクロ経済動向・統計

11月の小売販売は対前年同月比3. 3%増【17日】

中央統計局(GUS)によれば、11月の小売販売は対前年同月比3. 3%増。対前月比では-5. 9%。

が挙げられている。

11月の鉱工業生産は対前年同月比7. 8%増【17日】

中央統計局(GUS)によれば、11月の鉱工業生産は対前年同月比7. 8%増。10月の対前年同月比2. 4%から増加している原因として、2015年11月の平日数が2014年11月より一日多かったこと、電車や市電の車両の納期が年末までだったこと等

訪問外国人による第三四半期の支出総額は105億ズロチ【21日】

中央統計局(GUS)によれば、2015年第三四半期のポーランドにおける外国人による物・サービスへの支出総額は対前年同期比0. 7%増の105億ズロチ。他方、外国を訪れるポーランド人は対前年同期比1. 5%増の64億ズロチを物・サービスに支出している。

ポーランド産業動向

LOTのNY便増便【20日】

ポーランド航空(LOT)のプレスリリースによれば、2016年夏よりNY便を現在の週5便から16便に増便の予定。

モラヴィエツキ開発大臣は、ポーランドの輸出や投資を促進するため、新たな輸出及び開発支援機関を立ち上げることを発表した。さらに、この新組織はポーランド外国情報・投資庁(PAIIIZ)やBGK、ポーランド企業開発庁(PARP)及び輸出信用保険会社(KUKE)のような既存の組織をベースにすることになるだろうと述べるとともに、新組織は他国の同種組織で最良のものを参考にし現行組織よりも実行的なものとなるだろうと述べた。また、開発庁はポーランド企業や投資の活性化にも責任があることに触れ、ポーランド投資開発(PIR)を含む企業開発組織の強化を考えていることについても言及した。

カルフルがオンライン販売を開始【21日】

スーパーマーケットチェーンのカルフルがEストア「eCarrefour.pl」を開設。家電製品を含む800品目を扱い48時間以内に配達する。

新たな輸出・開発支援機関を創設—開発大臣【21日】

エネルギー・環境

ハンブルグ行政裁判所がノルドストリーム関連の訴訟を棄却【17日】

ハンブルグの行政裁判所は、独連邦海運・水路庁(BSH)を相手取ったシチェチン及びシフィノウィシチェ港湾事務所による提訴を棄却した。裁判所は棄却の理由を明らかにしていない。原告側は、バルト海底に敷設されているノルドストリーム・パイ

プラインについて、パイプラインの敷設されている深度が浅いために大型の船舶の航行ができないことを問題視し、2011年に設置を許可したBSHを提訴していた。

新KWを巡るエネルギー大臣の発言【18日】

トフジェフスキ・エネルギー大臣は、新コンパニ

ア・ヴェングロヴァ(KW)社の設立は2016年第1四半期となることを希望すると述べると共に前政権時に計画されたTFシレジア社によるKW社保有11炭鉱の買収は行われず、同社は株主として参画す

ることになると述べた。また、今年末の辞職が予定されていたKW社センジコフスキCEOについて一転して引き続きその職に残るとも述べた。

大使館からのお知らせ

パスポートダウンロード申請書のご案内

来年1月4日から、パスポートダウンロード申請が開始されます。これに伴い、詳しくは、下記リンク先をご覧ください。

http://www.mofa.go.jp/mofaj/ca/pss/page3_001509.html

年末年始に海外に渡航・滞在される方の安全対策のためのお知らせ

当館ホームページにおきまして、テロ・感染症・麻薬犯罪等対策と「たびレジ」による緊急連絡先登録のお願い」を掲載しております。詳しくは下記リンク先をご覧ください。

<http://www2.anzen.mofa.go.jp/info/pcwideareaspecificinfo.asp?infocode=2015C361>

ポーランドにおけるテロ関連情勢及び注意喚起

当館ホームページにおきまして、「ポーランドにおけるテロ関連情勢及び注意喚起」を掲載しております。詳しくは下記リンク先をご覧ください。

<http://www.pl.emb-japan.go.jp/konsulat/chian.info.pdf>

大使館広報文化センター開館時間

月曜日 9:00 - 19:00 火曜～金曜日 9:00 - 17:00

当センターでは、日本関連行事や各種展示のほか、マンガコーナーを含む書籍の閲覧、本・CD・DVD等の貸出しを行っています。

イベント情報: <https://www.facebook.com/JapanEmb.Poland>

問合せ先: 在ポーランド日本大使館広報文化センター(電話: 22 584 73 00, Eメール: info-cul@wr.mofa.go.jp, 住所: Al. Ujazdowskie 51, Warszawa)

東日本大震災義捐金受付について

当館における東日本大震災義捐金受付は、平成28年3月31日までに延長いたしました。詳しくは下記HPをご覧ください。

<http://www.pl.emb-japan.go.jp/jishin/gienkin.j.htm>

文化行事・大使館関連行事

【開催中】展覧会「浮世絵との対話」【9月20日(日)～1月3日(日)】

クラクフ市の日本美術技術博物館 Manggha にて、日本の浮世絵展が開催中です。
開催場所: マウオポルスカ県, クラクフ市, 日本美術技術博物館, ul. M. Konopnickiej 26
詳細: <http://manggha.pl/exhibition/48>

【開催中】展覧会:「俳優、人形、影。中国と日本の演劇」【9月30日(水)～3月13日(日)】

クラクフ市の日本美術技術博物館 Manggha にて、日本の演劇に関する展覧会が開催中です。能面、服装、小道具、楽器などが展示されています。
開催場所: マウオポルスカ県, クラクフ市, 日本美術技術博物館, ul. M. Konopnickiej 26
詳細: <http://manggha.pl/exhibition/50>

【開催中】ポーランドにおける日本美術傑作展【10月12日(月)～1月31日(日)】

ヴロツワフ市にてヴロツワフ市博物館主催による『ポーランドにおける日本美術傑作展』が開催中です。葛飾北斎の浮世絵、彫刻、絵画に加え、根付や屏風、着物、楽器、武具、刀剣など、多岐に亘る日本美術品が展示されています。
開催場所: ドルヌィ・シロンスク県, ヴロツワフ市, Pl. Powstańców Warszawy 5

詳細：<http://www.mnwr.art.pl/CMS/zapowiedzi.wystaw/zapowiedzi.wystaw.html>

【開催中】展覧会「**日本武士の世界：武士の魂と芸術家の技量**」【10月17日(土)～12月31日(木)】

グリヴィツェ市にて、グリヴィツェ市博物館主催による展示会『日本武士の世界：武士の魂と芸術家の技量』が開催中です。葛飾北斎の浮世絵、彫刻、絵画に加え、茶道具、武具、刀剣など、多岐に亘る日本美術品が展示されています。

開催場所：シロンスク県、グリヴィツェ市、ul. Dolnych Wałów 8a

詳細：<http://www.muzeum.gliwice.pl/>

【開催中】「**日本に魅了されて**」**墨絵・紙人形・油彩展**【12月2日(水)～1月15日(金)】

在ポーランド日本大使館広報文化センターにて、日本からインスピレーションを受けたポーランド人アーティストによる墨絵・紙人形・油彩展が開催中です。入場無料。

開催場所：在ポーランド日本大使館広報文化センター(電話：22 -584 -73 00, E メール：info-cul@wr.mofa.go.jp, 住所：Al. Ujazdowskie 51, Warszawa)

【開催中】国際現代デッサン・フェスティバル「**Think Tank lab Triennale**」【12月3日(木)～1月3日(日)】

ヴロツワフ市にて、ヴロツワフ市美術大学主催による国際現代デッサン・フェスティバル『Think Tank lab Triennale』にて、日本とポーランドの現代アーティストによる「Two Sticks」展が開催中です。

開催場所：ドルヌィ・シロンスク県、ヴロツワフ市、pl. Polski 3/4

詳細：<http://ttt.wroclaw.pl/en>

【予定】「**和音**」コンサート【1月10日(日)】

ワルシャワ市にて、太鼓、三味線、琴、尺八を中心とした日本の伝統音楽バンド「和音」によるコンサートが開催されます。

開催場所：マゾフシェ県、ワルシャワ市、アジア太平洋博物館、ul. Solec 24

詳細：<http://www.waon.pl>

【予定】水曜映画上映会「**ALWAYS 三丁目の夕日**」【1月20日(水)17:30～】

在ポーランド日本大使館広報文化センターにて、水曜映画上映会「ALWAYS 三丁目の夕日」が開催されます(日本語音声、英語字幕)。入場は無料です。座席に限りがありますので、参加ご希望の方は事前にご連絡ください。

開催場所：在ポーランド日本大使館広報文化センター(電話：22 -584 -73 00, E メール：info-cul@wr.mofa.go.jp, 住所：Al. Ujazdowskie 51, Warszawa)

【予定】講演会「**浮世絵から謎解き～歌麿・北斎・広重の生きた世界～**」【1月27日(水)・28日(木)】

ワルシャワ市・クラクフ市にて、ボストン美術館浮世絵デジタルプロジェクト・プロデューサー(NHKプロモーション)の牧野健太郎氏による講演『浮世絵から謎解き～歌麿・北斎・広重さんの生きた世界～』が開催されます。

開催場所：

マゾフシェ県、ワルシャワ市、ワルシャワ国立博物館、Al. Jerozolimskie 3 (27日(水), 17時半～)

マウオポルスカ県、クラクフ市、日本美術技術博物館、ul. M. Konopnickiej 26 (28日(木), 18時～)

この資料は、ポーランドの政治・社会情勢を中心に、各種報道をとりまとめたものです。報道をベースにしておりますので、記載事項の信頼性については責任を負いかねます。記載事項は在ポーランド日本国大使館の見解を示すものではなく、特定の団体・個人の利益を代表するものではありません。

皆様からの情報提供をお待ちしています

大使館では、読者の皆様に幅広くポーランドの情報をお伝えするため、皆様からの情報をお待ちしています。社会・生活情報やおすすめのイベント、困ったことなど、皆様に伝えたいと思われる情報があれば、下記のアドレスまでご連絡ください。（営利目的など、内容によっては対応できかねる場合もありますのでご了承ください。）

【お問い合わせ・配信登録】

本資料は、ポーランドに関心のある方であれば誰でも受け取ることができます。「新たに配信を受けたい」、「送付先メールアドレスを変更したい」、「配信を停止したい」等の依頼につきましては、下記のアドレスまでご連絡ください。

大使館ウェブサイト(http://www.pl.emb-japan.go.jp/index_j.htm)も併せて御覧ください。
[在ポーランド日本国大使館 newsml@wr.mofa.go.jp](mailto:newsml@wr.mofa.go.jp) (ご連絡は電子メールでお願いします。)